

2019 年 12 月 2 日

## 電通と電通イージス・ネットワーク、日本・中国ハイブリッド市場における 統合的マーケティングソリューションを強化

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）と電通イージス・ネットワークは、日本と中国の企業が抱える日本・中国ハイブリッド市場のマーケティング課題にクロスボーダーで対応していくグループ横断組織「Dentsu China Xover Center」（略称「Dentsu CXC（デンツウ シー・バイ・シー）」<https://cxc-dentsu.com>）が中心となり、グループ各社との連携の下、以下の 2 点により統合ソリューションを強化します。

1. 日本・中国クロスオーバー消費行動モデル概念「SSS フレーム」を開発
2. 中国有力 EC 運営会社「Leqee」（以下「ラーチャー社」）との戦略的業務提携

1. 日本・中国クロスオーバー消費行動モデル概念「SSS フレーム」を開発



電通グループでは、中国インバウンド、越境 EC の重要度が高まるこれからの時代における日本・中国クロスオーバー消費行動モデル概念「SSS フレーム」を開発し、企業・団体へのコミュニケーション・プランニングにおいて提唱していきます。

この消費行動モデル概念「SSS フレーム」は、日本と中国を別の市場として捉えるのではなく、相互に影響し合うハイブリッドな市場として捉え、中国インバウンド、越境 EC のコミュニケーション・プランニングに活用する概念です。訪日中国人定量調査、訪日中国人インタビュー調査、Dentsu CXC メンバーおよび外部有識者の知見をもとに開発されました。旅マエ、旅ナカ、旅アトの 3 段階に分け、それぞれの段階での消費者の心理変容とそれによって喚

起される行動を表しています。具体的には、【旅マエ】『共感：Sympathize → 探索：Explore』 → 【旅ナカ】『驚感：Surprise → 初回購入：Purchase』 → 【旅アト】『共有：Share → 継続購入：Purchase』です。

多くの人々に、このフレームを活用していただくことで、日本・中国ハイブリッド市場が今後ますます盛り上がることを願います。

## 2. 中国有力 EC 運営会社「ラーチャー社」との戦略的業務提携

EC 領域においては、株式会社電通と電通イージス・ネットワーク中国が中国の有力 EC 運営会社ラーチャー社（本社：中国浙江省杭州市、CEO：David Liu）との戦略的業務提携を行いました。

ラーチャー社は 70 以上のグローバル・ローカルブランドの EC 店舗を運営し、EC 最大手のアリババ社から 2018 年上期までに 6 つ星・下期以降も 5 つ星の評価を得る、質量ともに中国有数の EC 運営会社です。

ラーチャー社の中国国内 EC および越境 EC オペレーションにおける専門性・優位性と、電通のブランディング、マーケティング領域における専門性、優位性を融合することで、中国国内 EC、越境 EC を展開する企業に対して、「ブランドコマース」サービスをワンストップで行い、売り上げ向上や新たな付加価値提供、課題解決に寄与することを目指します。

これからも電通と電通イージス・ネットワークは、日中クロスオーバー消費時代への変化をいち早くとらえ、企業の新しいマーケティング活動に最適なソリューションを提供していきます。

### <ラーチャー社の概要>

正式社名：乐麦信息技术（杭州）有限公司（ラーチャー社）

本社所在地：中国浙江省杭州市

（上海、深圳、北京、広州、香港、東京、ソウルなどに支社）

設立：2009 年 4 月

売上：8.45 億米ドル(2018 年 12 月期)

代表者：David Liu (CEO)

従業員数：2,000 名(2019 年現在)

事業内容：EC 統合マーケティング領域全般のサービス提供

### 【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 広報局 広報部

山口、中島 TEL：03-6216-8041

### 【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 Dentsu CXC（デンツウ シー・バイ・シー）

「SSS フレーム」に関して：武藤、高橋、中谷、林、李

ラーチャー社戦略的業務提携に関して：椋木

Email：[dentsucxc@dentsu.co.jp](mailto:dentsucxc@dentsu.co.jp)